

受験番号							
------	--	--	--	--	--	--	--

令和7年度入学者選抜
日本赤十字北海道看護大学大学院看護学研究科
看護学専攻(修士課程)一般入学試験(I期)問題

専門科目(90分)
(母性看護学)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題用紙は表紙を含め4枚(3ページ)です。解答用紙は3枚(3ページ)です。
3. 下書き用紙は1枚あります。必要に応じて利用してください。
4. 試験監督者の指示に従って、問題用紙には受験番号を、解答用紙には受験番号および志望領域を記入してください。
5. 解答には、黒色鉛筆(シャープペンシルも可)を使用し、解答はすべて解答用紙に横書きで記入してください。
6. 問題用紙や解答用紙に落丁・乱丁および汚れ等がある場合は、試験監督者に申し出てください。
7. 問題用紙、解答用紙とも試験終了後、回収しますので持ち帰ってはいけません。
8. 下書き用紙は、持ち帰ってください。
9. 試験中に質問等がある場合は、手を挙げ試験監督者に知らせてください。

問1. 妊娠とその診断に関する以下の文章について、() 内に入る適切な語句・数字を記入しなさい。

- 1) 月経周期が順調で、性生活を有する健康女性の(①)が停止した場合は、妊娠の可能性が考えられる。
- 2) 妊娠が成立すると、絨毛細胞から分泌され母体血中に入った hCG は(②) に排泄されるが、この hCG を検出するのが妊娠反応である。
- 3) 超音波ドップラー法では、早ければ妊娠9週から、妊娠12週ではほぼ全例に(③)が聴取される。
- 4) 妊娠18～20週頃になると、妊婦は(④)を自覚するようになる。
- 5) 分娩予定日は、ネーゲレの概算法に従って、最終月経の初日に(⑤)日を加え、月から(⑥)を引くか、(⑦)を加えることにより計算される。
- 6) 超音波検査において、妊娠7週ごろから測定可能となる(⑧)は、妊娠8～11週までの間は誤差が少なく、妊娠週数を診断する場合の最も信頼性の高い指標となる。
- 7) 妊娠初期に行う感染症検査の主な目的は、母児の(⑨)感染予防のためである。
- 8) 妊婦では、妊娠経過に伴い、赤血球量も増加するが血漿量の増加が著しいため、血液は(⑩)される。

問2. 分娩経過に応じた産婦の基本的ニーズとそれに対する支援について、述べなさい。

問3. 次の文を読み、以下の問いに答えなさい。

Aさん(38歳、初妊婦)は、妊娠40週3日、正常分娩にて女兒(Aちゃん)を出産した。児は元気に出生し、出生児体重2800g。分娩時出血量800mLであった。

本日、産褥(日齢)4日目における、AさんおよびAちゃんの情報は以下のとおりである。

Aさん(産褥4日目)

子宮底は臍下4横指で硬く触れる。赤色悪露がナプキンに少量付着する程度。本日の診察にて生殖器の復古に問題はなく、翌日(産褥5日目)の退院が決定する。母乳は産褥3日目頃より分泌増強し、現在の授乳回数は1日10回程度である。本日の採血により貧血と診断され、鉄剤の内服薬が処方された。

Aちゃん(日齢4日目)

体重2700グラム、栄養方法は母乳のみ、排尿回数7回/日、排便回数5回/日

Aさんより、以下の発言があった。

「昨日あたりから母乳の分泌が増えてきて、助産師さんからは母乳のみで大丈夫ですよ、と言われているのですが、自宅に帰ってからは体重計もないのでちゃんと足りているのか心配です。私も主人も実家が遠く、どちらの両親も高齢なのであまり負担はかけられません。産後は2週間ほど私の母親が手伝いに来てくれますが、その後は夫婦2人で育児をしていく予定です。夫は手伝ってくれるとは言っていますが、普段は仕事が忙しく、平日の日中は私と赤ちゃんの2人だけなので、母が帰った後はとても心配です」

- 1) Aちゃんの日齢4日目における体重減少率(%)を計算しなさい。
※小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第2位を四捨五入すること。
- 2) 産褥4日目(日齢4日目)の状況やAさんの発言をふまえて、AさんおよびAさんの家族の退院後の課題について述べなさい。
- 3) 本日(産褥4日目)、あなたはAさんへの退院指導を担当することになった。2)で述べた退院後の課題をもとに、あなたが必要と考える退院指導の内容について、その根拠も含めて具体的に述べなさい。

問4. 受胎調節法に関する以下の文章について、() 内に入る適切な語句を記入しなさい。

- 1) コンドームの使用は、(①) が膣内に進入するのを防ぎ、(②) の予防にも役立つことが利点である。
- 2) 低用量ピルは、主として(③) を抑制することによって避妊する方法であり、(④) が主体的に実行できることに特徴がある。
- 3) 子宮内避妊器具(IUD)は、主として受精卵の(⑤) を防ぐ避妊法である。

問5. 男性の育児休業取得について、あなたの考えを述べなさい。